

【多言語翻訳機「ポケットークスタンダードモデル」の配付について】 【資料6】

《背景》

大阪市では、近年、外国につながる児童生徒の編入が急増している。

阿倍野区においては、令和4年度から令和7年度の3年間で2倍以上に増加しており、生徒間の交流や保護者対応時に言語の壁によるコミュニケーション上の問題が発生するなど、学校現場での対応需要が高まっている。

児童生徒の学習・生活上の困難の軽減と、教職員の負担軽減を図ることを目的として、学校現場で即時性・携帯性が高い翻訳専用機器を導入する。

《目的》

外国につながる児童生徒の増加に伴い、令和8年度に翻訳専用機器を区として計画的に購入し、各学校へ導入する。あわせて、既存の市施策（プレクラス、センター校、日本語指導体制、遠隔通訳、AI翻訳アプリ等）を補完し、学校現場で即時性・携帯性が求められる場面（初期受入れ、保護者対応、日常の安全確認等）における支援の実効性を高め、阿倍野区として「今できる支援」を具体化する。

《配付スケジュール（予定）》

（※右表参照）

令和8年7月10日（金）納期にて現在契約事務手続中のため、7月中には今年度の配付予定校へ配り終わる予定。予算に限りがあるため、R8～R9の2年間で、区内15校（小学校10校、中学校5校）に対して配付する。

《調達予定製品》

ポケットークS2 Plus スタンダードモデル PTS2P-W

- ・グローバル通信2年
- ・保護ケース、保護フィルム付
- ・連続通訳時間 396分（6.6時間）

R8 配付	高松小学校、常盤小学校、丸山小学校、 晴明丘小学校、阪南小学校、文の里中学校、 阪南中学校、松虫中学校
R9 配付	金塚小学校、阿倍野小学校、長池小学校、 苗代小学校、晴明丘南小学校、 昭和中学校、阿倍野中学校

※R8は小学校5校、中学校3校、R9は小学校5校、中学校2校を対象とし、外国につながる児童生徒が多い学校から順に配付